

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

センコーグループホールディングス株式会社（証券コード: 9069）

【見直し変更】

長期発行体格付
格付の見直し A-
安定的 → ポジティブ

【据置】

債券格付 A-

■格付事由

- 大手物流会社のセンコーを中心とするグループの持株会社。顧客の物流業務を一括して請け負う 3PL に強みを持つ。経営・資金・資本などの側面から当社とグループ会社の一体性は強く、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。物流事業に加え、商事・貿易事業やライフサポートなどの新事業も推進している。
- コロナ禍においてもキャッシュフロー創出力の着実な向上が確認できる。3PL システムの高い開発力を背景に引き続き住宅および石化・樹脂業界の大手と安定した取引関係を維持しているほか、流通ロジスティクス分野の取引拡大が進んでいる。さらに M&A による増収効果に加えてコスト改善および生産性の向上が続いている。従来から同業他社比で高い財務レバレッジをかけた財務運営を行っているが、財務構成を一定の水準に維持しつつ、安定した投資リターンを確保できている。現状の財務構成を維持しつつ、今後も安定性が高いキャッシュフローの積み上げが続く可能性が高いと判断し、格付の見直しを「ポジティブ」に変更した。
- 23/3 期第 3 四半期決算発表時に公表された 23/3 期営業利益見直しは 267 億円（前期比 7.8%増）と 6 期連続で最高益を更新する見込みである。24/3 期以降も継続的な M&A によるシナジー効果が期待できる。主要顧客との取引関係が急速に悪化する可能性も低い。コスト効率の改善も継続される見込みであり、引き続き利益成長が見込めよう。
- 23/3 期第 3 四半期末の自己資本比率は 28.4%（前期末同 30.5%）。引き続き積極的な設備投資や M&A が予想されるが、当社の財務運営方針を勘案すれば財務構成がさらに大きく悪化する可能性は低い。また過年度において実施した M&A に対する多額の減損処理などは行われておらず、投資リスクは十分にコントロールされている。当社は簿外のリース債務の規模が大きく、これを考慮した財務構成は改善の余地が大きいものの、一方でリースの活用を積極的に進めるなど、財務負担に十分に配慮した財務運営が行われていると考えられる。

（担当）上村 暁生・加藤 直樹

■格付対象

発行体：センコーグループホールディングス株式会社

【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	A-	ポジティブ

【据置】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 7 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2017 年 10 月 27 日	2027 年 10 月 27 日	0.475%	A-
第 8 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	100 億円	2020 年 9 月 17 日	2025 年 9 月 17 日	0.340%	A-
第 9 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2020 年 9 月 17 日	2030 年 9 月 17 日	0.620%	A-

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第10回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2021年9月16日	2031年9月16日	0.320%	A-

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2023年4月13日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：上村 暁生
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）「陸運」（2020年5月29日）、「持株会社の格付方法」（2015年1月26日）、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」（2003年7月1日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） センコーグループホールディングス株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル